

とわ助産院

横浜市の
鶴見駅から
すぐ

助産院紹介♪

広報委員が取材してきました！

【院長】山本年映さん

【なりたち】もともとはこちらの地にあった鈴木乙羽先生の「鈴木助産院」を神奈川県助産師会立助産院として残すことに決まり、平成21年6月1日にオープンしました。



左から院長の山本さんとスタッフ矢越さん

【院長メッセージ】

自然出産、産後ケア（横浜市と東京都大田区の事業を請け負っています）母乳ケアを行っています。助産院で産みたいというお母さんたちがいる限り続けていきたいと思っています。その他に会員の研修会、会議、新型コロナウイルス感染症妊婦等電話相談を行う場としても活用されています。今後は会員皆さんが活躍できる場として次世代に繋げていきたいです。ぜひ、助産院留学やご見学をお待ちしています。（取材：野村）

かもめ助産院

横須賀市に
あります

【院長メッセージ】

お産、産後ケアのみならず、かもめケア訪問看護ステーションを併設し、医療ケアの必要な赤ちゃんや精神的ケアの必要な女性を地域の保健師さんと連携を取りながら支えています。広い教室では、横須賀市助産師会の育児サークルを開催しています。今後は、いのちの授業や女性に向けた健康講座なども行い女性や子どもの体づくりに力を入れていきたいです。（取材：山田、柳井）

【院長】鈴木 令佳さん

【なりたち】今年、開業21年目。昨年の9月に新しい助産院へ引っ越しました。



右から二番目が院長の鈴木令佳さん

詳しくは公式Instagramで
配信予定です。
公式Instagram
@kanagawakenjo34



公益社団法人 神奈川県助産師会
ニュースレター

みらい

2021年7月 vol.15

会長あいさつ

会長 岡本 登美子



向夏の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より助産師会の運営・活動に多大なる御協力をいただき厚く御礼申し上げます。6月10日の定時総会が、オンラインによる開催で終了しました。従来の研修会やセミナーは、コロナ禍の影響でITを駆使しWebシステムの実用化に向けて研鑽を重ね、活動を継続しています。行政機関や関係団体・企業と地域の母子保健支援に積極的に取り組み、地域貢献事業として、会立助産院（とわ助産院）では産後ケア事業を市内に限らず、都内の産後ケアも受け入れ、質の高い助産師のケアを提供しています。安全と安心を確保するために、助産所の事例検討、再発防止対策に努め、組織としてITによる全国分娩データシステムに加入・集計することで日本助産師会との連携を共有しています。災害対策支援活動も地区連携を図りながら会員のボランティア派遣登録も募集中です。コロナ禍の影響で見えてきたことに感謝しつつ、母子支援事業の拡充拡大に、丁寧に取り組んで参りたいと思います。今後とも会員の皆様方のご協力とご指導、ご鞭撻を頂戴致しくお願い申し上げます。

2021年度 公) 神奈川県助産師会 定時総会報告

総務理事 山田舞



令和3年6月10日（木）2021年度定時総会が行われました。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染防止のため、オンライン開催となりましたが、昨年度に比べ、理事・監事、事務局をはじめ、会員の皆様におかれましても、オンライン操作が慣れてきた様子が伺え、スムーズな進行・運営を行うことができました。鈴木副会長の司会進行で始まり、開会に先立ちまして、長きに渡り母子保健にご尽力いただきました、森川勝繪様、須藤恵様、中原淳様、3名のご冥福をお祈りし、2020年度の実績者や若く赤ちゃん献金表彰者・贈呈先、寄付者の紹介を行いました。岡本会長より開会の挨拶を頂き、勝俣喜代子氏が議長となり、総会が始まりました。議案である2020年度事業報告と収支決算・監査報告を行い、コロナ禍で、様々な催し物が中止となり、オンライン導入など感染対策を考慮しながら、県委託の新型コロナウイルス感染症支援事業も請け負い、事業計画と収支予算を練り直しながら運営した1年間でした。賛成多数で議案が可決され、今年度の事業計画と予算の報告へ移りました。最後に、柳澤副会長より、会員の皆様のご協力に感謝の意を申し上げ、閉会の挨拶にて幕を閉じました。今年度も、社会情勢に合わせながら、母子保健の普及・啓発を中心とした当会の活動に、会員の皆様のお力添えを頂きますよう、よろしく願いいたします。

乳頭キレツのケアに!

天然成分 100%

TEL:0120-39-1433

ヘビーバーユマドンナ

各種はらまき ニット生地
千葉県野田市木間ヶ瀬 3292
tel:04-7198-1313 fax:04-7198-6117

ルビ・本舗

べたつかないのに、しっとりキープ
「保護膜」が手肌を守り、潤いを保ちます。

「保湿成分」配合 医薬部外品
デルネス プロテクトシリーズ
アロカカーム 1,980円(税別) 4,180円(税別)

東洋羽毛都製販株式会社横浜営業所
〒241-0031 神奈川県横浜市旭区今宿西町1-192-1 リーコール 0120-00-7663

公益社団法人 神奈川県助産師会

☎231-0037

神奈川県横浜市中区富士見町3-1

神奈川県総合医療会館6階

TEL: 045-262-4201

E-mail: office@kanagawa-josanshi.com

HP: http://kanagawa-josanshi.com/

編集後記

今回から特集として神奈川県にある助産院を紹介していきます。今後Instagramでも発信していきますのでフォローお願いします。（野村）

随時会員を募集しております。一緒に活動しませんか。興味のある方はメールにてご連絡お待ちしております。

神奈川県助産師会の事業報告

助産師が専門職としての責任を果たす 神奈川県委託事業報告

事業統括理事 森内幸美



当会では、専門職職能団体として母子保健の普及啓発に取り組み自治体や企業に助産師を派遣する事業を展開しています。国では、子どもが健やかに生まれ育つための環境づくりの推進を図るため、様々な施策が実施されており、昨年度からの神奈川県新型コロナ妊産婦等電話相談、寄り添い型支援事業に続き、今年度、神奈川県若年妊婦等支援事業公募において選定されました。

当会活動が社会的に信頼され専門職としての責任を果たす役割をいただいたことと考えます。助産師が、一人一人の女性とその家族に寄り添い、多職種や関係機関と連携して支援にあたり、益々事業が拡大し助産師の活躍の場が増えることに努めたいと考えます。

妊娠出産SOSかながわの活動が始まりました 若年妊産婦支援事業報告

事業担当 又木由美



予期しない妊娠などの悩みを抱える女性やパートナー、その家族等が気軽に相談ができて、専門的知識を持った助産師がカウンセリングマインドを用いて相談に応じる窓口「妊娠SOSかながわ」の電話相談とLINE相談が開始されました。これまでに10～30代の男女から、月経の遅れ、避妊に失敗したなどの妊娠不安、望まない妊娠、経済的な問題など様々な相談が入っています。命の生まれる瞬間に立ち会う助産師だから、妊娠したかも、産めない、育てられない等の悩みを傾聴し、大切な命について一緒に考えていける大事な相談事業だと実感しています。

新型コロナウイルス感染症に係る 妊産婦寄り添い型支援事業を開始して

事業担当 富宅真理子



「妊産婦寄り添い型支援」を令和2年9月から担当しております。

私が実際に訪問したのは、感染が確認されたことで分娩後すぐに子どもと離され呼吸器内科に入院し、授乳をはじめ赤ちゃんの抱っこも経験できないまま自宅に戻ったという方でした。その方に対して私が行ったことは、沢山の「それで大丈夫」という声かけでした。それでも、そのお母さんは「それでいい、という言葉が言ってもらえるだけで嬉しい。全部手探りで、夫と2人だけで育児していたから」「やっと普通のお母さんみたいになれた。」と笑顔を見せてくれました。こういった状況のために寄り添い型支援があるのだと感じました。対象の方の気持ちを受け止め、育児の一つ一つに寄り添うケアの中で、どんな状況の母親でも幸せな育児のスタートができるよう支援を続けていきたいと思っております。

令和2年度新型コロナウイルス感染症 妊産婦等電話相談運営業務委託の実施報告

事業担当 石原 昌



神奈川県助産師会が業務委託を受けて令和2年9月28日から令和3年3月31日まで相談業務を行いました。月曜日から土曜日の10時～16時に助産師が1名ずつ待機し電話を受け、9～10月は0.5件/日の相談のみでした。第2回目の緊急事態宣言の発出された1月は3.1件/日、その他の月は1.3～1.5件/日でした。相談者は妊婦が70%、子育て中の母親11%、産婦、その他で19%、年齢層は30代が44%、20代21%、その他35%でした。相談窓口の把握はインターネットが57%と多く、県の配布したチラシは1%と少なかったです。相談内容は妊娠40%とPCR検査21%が多い結果となりました。

その結果を受けて、令和3年4月1日より月・水・金・土曜日の10時～16時で継続して行っています。

災害時に助産師の力が発揮できるように 災害対策委員会活動報告

災害対策委員長 山本年映



昭和大学、神奈川県との大学発政策提案も2年目に入りました。神奈川県との派遣協定が3月16日付で締結されました。災害対策にとって大きな前進です。4月には災害時支援マニュアルの冊子が完成、発送致しました。そして「災害時支援協力助産師」制度も構築され現在57名となり、登録証ビブスの配布を行いました。より多くの登録をお願い致します。災害対策研修は今年度は7月、11月の2回を予定しています。登録した助産師、他たくさんのご参加をお待ちしております。今年度も母子向けリーフレットの作成などを中心に活動していきます。災害時助産師の力が発揮できるよう今後も皆様のご協力を宜しくお願い致します。



配布された登録証・ビブス・マニュアル